

大活躍の平野中学校

校長 香山 和昭

前半は梅雨空がつづき、8月初旬から厳しい暑さが戻ってきた夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。

今年の夏休みは、本校生徒の頑張り、活躍が光りました。夏休みに入っすぐに、人命救助で貢献した1年の萩原大耀君、岡本歩君、小野田和奏さんらの連携した速やかな行動は大きなニュースとして新聞等で報道されました。

また、部活動では、陸上部が8種目で県大会に出場しました。なかでも3年の小山翔也君は1500mで県大会優勝、3000mでは準優勝。関東大会では1500mで優勝。大阪で行われた全国大会では3000m（記録8分34秒70）、1500m（記録4分02秒29）ともに優勝し、全国2冠を達成しました。これは本当にすごいことです。今後も活躍が期待されます。男子バレー部は県大会ベスト8に進出、準々決勝で敗れたもののその後の関東大会代表決定戦で3連勝し関東大会に出場しました。関東大会では全国大会出場決定戦で惜しくもフルセットの末敗れましたが、一試合一試合成長していく生徒たちの姿に感動を覚えました。また、3年の室遼飛君が12月に行われるJOCジュニアオリンピック都道府県対抗バレーボール大会の埼玉県選抜選手に選出されました。男子ソフトテニス部も個人戦・団体戦で県大会に出場しました。初戦で敗れましたが素晴らしい試合を見せてくれました。吹奏楽部は、県吹奏楽コンテスト東部地区大会に出場し、少ない人数ながら素晴らしい演奏を行いました。また、平野地区子ども祭りで楽しい演奏を披露し地域の方々より盛大な拍手をいただきました。

部活動以外でも平野小学校のサマースクールで、丸付けボランティアに積極的に参加し、小学校の児童の学習を支えてくれた生徒がいます。夏休み中もボランティアで清掃を行ってくれる生徒もいます。また、夏休み中の特別清掃では、1年生が短時間ですが担当個所を丁寧に掃除してくれました。休み中も学校がきれいなのは、こうした生徒の力があってこそと、とてもありがたく思います。学習相談会の期間は、たくさんの生徒が自主的に学習機会を求めて参加していました。また、2年の播磨昇意君、1年の下山揺花さん、原彩桜さんは、蓮田市国際親善訪問団員に選ばれ、オーストラリア・クィーンズランド州・ゴールドコースト市でのホームステイを経験し、国際理解・親善に力を尽くしてきました。この他、9月の市内英語スピーチコンテスト、市内科学展に向けて熱心に練習や研究を進めた生徒もいました。全校生徒119名の小さな学校ですが、まさに今年の夏は大活躍の平野中学校でした。

さて、9月は「意欲」の月です。「意欲」は、目標を持つことがスタートです。目標は2種類です。短期の目標は短い期間で達成できる目標です。長期

の目標は長い期間（1年間・卒業まで）で達成できる目標です。「意欲」は、「目標」を常に見ることで持続します。「目標」を視覚化しておきましょう。

さあ、生徒の皆さん2学期の始まりです。目標を立て、日々準備と努力をしっかりとしていきましょう。2学期も保護者の皆様の御協力と地域の皆様方の温かい見守りをどうぞよろしくお願い申し上げます。